

社会福祉専攻：3年次編入学生 カリキュラム

2020年度版

卒業に必要な修得単位数

学科科目68単位以上

区分	必修	選択	合計
共通科目	—	—	—
学科科目	45単位	23単位以上	68単位以上
合計	45単位	23単位以上	68単位以上

- 必修科目を全て修得し、かつ選択科目を含めて修得単位の合計が**68単位**に達すると、**3月で自動的に卒業**となります。
- 各年度に履修できる単位数は、**43単位を上限**とします(再履修科目を除く)。
- 「心理・仏教学系科目」から履修できる単位数は、**8単位を上限**とします。
- 認定心理士**を取得する場合は、「認定心理士科目」を全て修得する必要があります。
- 個別認定単位**は、必修科目/選択科目ともに卒業所要単位数に算入されます。
- 相談援助業務の実務経験による履修免除科目(選択10単位)**は卒業所要単位数には含まれません。
また、「社会福祉演習1～3」を修得しなければ社会福祉士受験資格は取得できませんので、ご注意ください。
- 自己育成能力開発科目**は、対応する社会福祉系科目(社会福祉士指定科目)を修得した方のみ履修できます(同年度履修可能)。
- 社会福祉士受験資格を取得**するには、科目名欄にある●(45単位)と○(20単位)の**合計65単位**の修得もしくは免除が必要です。
○の科目は、修得しなくても卒業所要単位数を満たせば自動的に卒業となりますが、**卒業後に科目等履修生として履修することはできません**のでご注意ください。

→ 社会福祉士の受験資格などについては「**通信教育部ガイド:取得できる資格**」をご確認ください。

開講年次 下位学年の開講科目は、どの科目でも履修できます(秋入学生は学年が上がる前の4月より、1学年上の科目を履修可能)。
3年※:入学2年目以降(社会福祉士養成課程である短期大学・専門学校卒業者は入学初年度、秋入学生は入学半年後)に履修できます。

学習方法 S:スクーリング科目 T:テスト科目 R:レポート科目 TR:テスト・レポート科目
SR:スクーリング・レポート科目 ST:スクーリング・テスト科目 STR:スクーリング・テストレポート科目

科目名 ●:「社会福祉士」指定科目かつ学科科目(**必修45単位**) ○:「社会福祉士」指定科目かつ学科科目(**選択20単位**)
免:相談援助業務の実務経験による履修免除科目(**選択10単位**) 介:「介護福祉士」有資格者の認定科目(**必修12単位**)

単位数 ()内の数字は、その科目で修得できる**スクーリング単位数**です。

スクーリング コマ数、日数および受講料は予定のため、変更(休講含む)になる場合があります。

2020年2月時点の予定であり、変更になる場合があります。

開講年次	科目区分	科目名	学習方法	単位数		スクーリング(予定)			メディア授業 受講料	備考	
				必修	選択	コマ数	日数	受講料			
3年	基礎科目	大学基礎	STR		1 (0)	2	1	2,500	2,500		
	社会福祉系科目	医学知識	介●	T	2						
		心理学		T		2					
		社会学		T		2					
		現代社会と福祉	介●	T	4						
		社会調査の基礎	●	T	2						
		相談援助の基盤と専門職	●	T	4						
		相談援助の理論と方法1	●	T	4						
		相談援助の理論と方法2	●	T	4						
		地域福祉	●	T	2						
		高齢者福祉と介護保険制度	介●	T	4						
		障害者福祉	介●	T	2						
	児童・家庭福祉	●	T	2							
	演習・実習系科目	社会福祉演習1	○	R		4					※1
社会福祉演習2		○	SR		3 (2)	21	6	26,250		※1	

開講年次	科目区分	科目名	学習方法	単位数		スクーリング(予定)			メディア授業	備考
				必修	選択	コマ数	日数	受講料	受講料	
学科科目										
3年※	自己育成能力開発科目	医学一般	T		2					
		社会福祉	T		4					
		社会調査	T		2					
		ソーシャルワーク	T		4					
		社会福祉援助技術1	T		4					
		社会福祉援助技術2	T		4					
		地域福祉論	T		2					
		コミュニティーソーシャルワーク	T		2					
		社会福祉行財政と福祉計画	T		2					
		福祉運営管理	T		2					
		社会保障制度	T		4					
		高齢者福祉サービスと介護保険	T		4					
		障害福祉	T		2					
		児童・家庭福祉制度	T		2					
		生活保護	T		2					
	保健医療制度	T		2						
	就労支援	T		1						
	認定心理士科目	心理学概論	T		4					
		心理測定法	STR		4 (2)	16	4	15,000	15,000	学習方法選択
			TR		4					
		心理学実験実習1	R		2					
		学習心理学	T		4					
		発達心理学	T		4					
		臨床心理学	T		4					
		社会心理学	T		4					
		認知心理学	R		4					
	心理・仏教学系科目	教育心理学	ST		4 (2)	16	4	15,000	15,000	学習方法選択
			T		4					
		人間論	S		2 (2)				15,000	メディア授業のみ
		実践仏教	S		2 (2)	16	4	20,500※5		
		坐禅研修	S		2 (2)	—	2泊3日	28,000※6		
	社会福祉系科目	念仏研修	S		2 (2)	—	2泊3日	45,000※7		
		仏跡研修[隔年開講]	S		4 (4)	—	6泊8日	30,000※8		2020年度休講
生活仏教(日本仏教の諸宗派)		S		2 (2)	16	4	15,000			
演習・実習系科目		コミュニティワーク	● T		2					
		福祉行財政と福祉計画	● T		2					
	社会福祉運営管理	● T		2						
	社会保障	● T		4						
	公的扶助	● T		2						
	保健医療サービス	● T		2						
	就労支援サービス	● T		1						
	権利擁護と成年後見制度	T			2					
司法福祉	S		1 (1)	8	2	10,000				
認定心理士科目	社会福祉演習3	○ SR		3 (1)	2	1	2,500		※2	
	社会福祉実習指導1	免○ SR		4 (1)	8	—	10,000		※1・2	
	社会福祉実習指導2	免○ SR		1 (0)	2	—	2,500		※2	
	社会福祉実習指導3	免○ SR		1 (0)	4	—	5,000		※2	
	社会福祉実習	免○ S		4 (4)		※3	115,000※4		履修条件あり ※1・2	
心理・仏教学系科目	パーソナリティ心理学	T		4						
	心理学実験実習2	SR		2 (1)	16	4	17,000※9			
心理・仏教学系科目	精神医学	T		2						
	家族関係論	S		2 (2)				15,000	メディア授業のみ	
	ヒンドゥーの文化と思想	S		2 (2)				15,000	メディア授業のみ	

※1 「社会福祉実習」を受講するには、実習前(4年次の9月中旬)までに「社会福祉演習1」「社会福祉演習2」「社会福祉実習指導1」の単位修得が必要です。

※2 「社会福祉実習」を履修登録する際は、必ず「社会福祉実習指導1～3」「社会福祉演習3」と合わせて履修登録してください。

これらは実習関連科目であり、必ず同年度に履修する必要があります。

→ 詳しくは「通信教育部ガイド:取得できる資格」をご確認ください。

※3 24日間(180時間)以上

※5 諸経費5,500円(坐禅のための坐布代金と写経のためのお手本と用紙代金)を含む

※7 諸経費30,000円(宿泊・食事費等)を含む

※9 諸経費2,000円(実験機器維持費)を含む

※4 実習委託費35,000円を含む

※6 諸経費13,000円(宿泊・食事費等)を含む

※8 別途、諸経費(30万円程度)が必要